

Scale.AI と Ouster データ統合に関する業務提携の発表

Alexandr Wang 2018 年 12 月 4 日

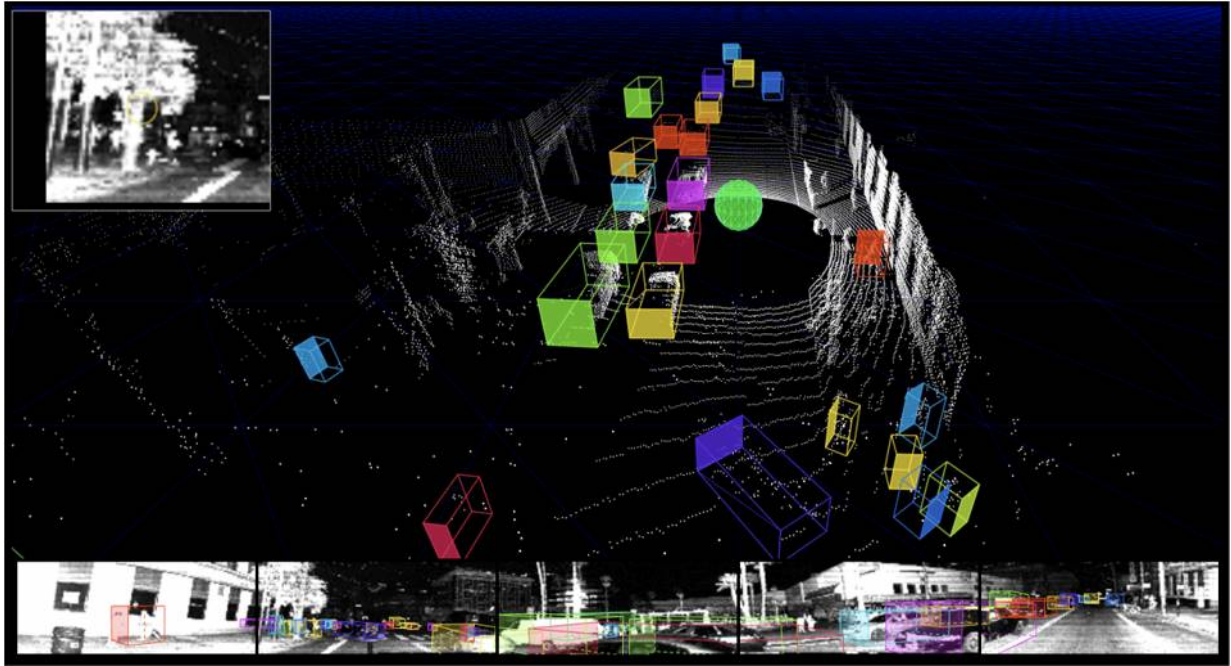


Scale.AI は AI アプリケーションの開発を加速させ、高速で正確、そして手ごろな価格のデータラベリングをお客様に提供することに取り組んでいます。本ミッションの一環として、Scale.AI 社と Ouster 社は、Ouster の顧客が所有する LiDAR データを、Scale.AI のラベリング用プラットフォームへ、簡単で且つ高速に転送できる「データ統合のパートナーシップ」を結び、開始することをお知らせいたします。

両社は、共通のデータフォーマットとラベリングプロセスを開発するため、数か月間にわたり一緒に取り組んで参りました。これにより、Ouster LiDAR センサーから出力される①「画像に似たデータ」と、②業界をリードする Scale.AI の「センサーフュージョンラベリング技術 (LiDAR と RADAR のラベリング)」及び「認識時間と処理量を削減するセマンティックセグメンテーション・ラベリングソリューション」、とを融合させます。新しいアプローチは、自律走行車から産業ロボット、ドローンまですべてに携わる企業のデータラベリングの最も困難で時間のかかる部分を削減することになります。

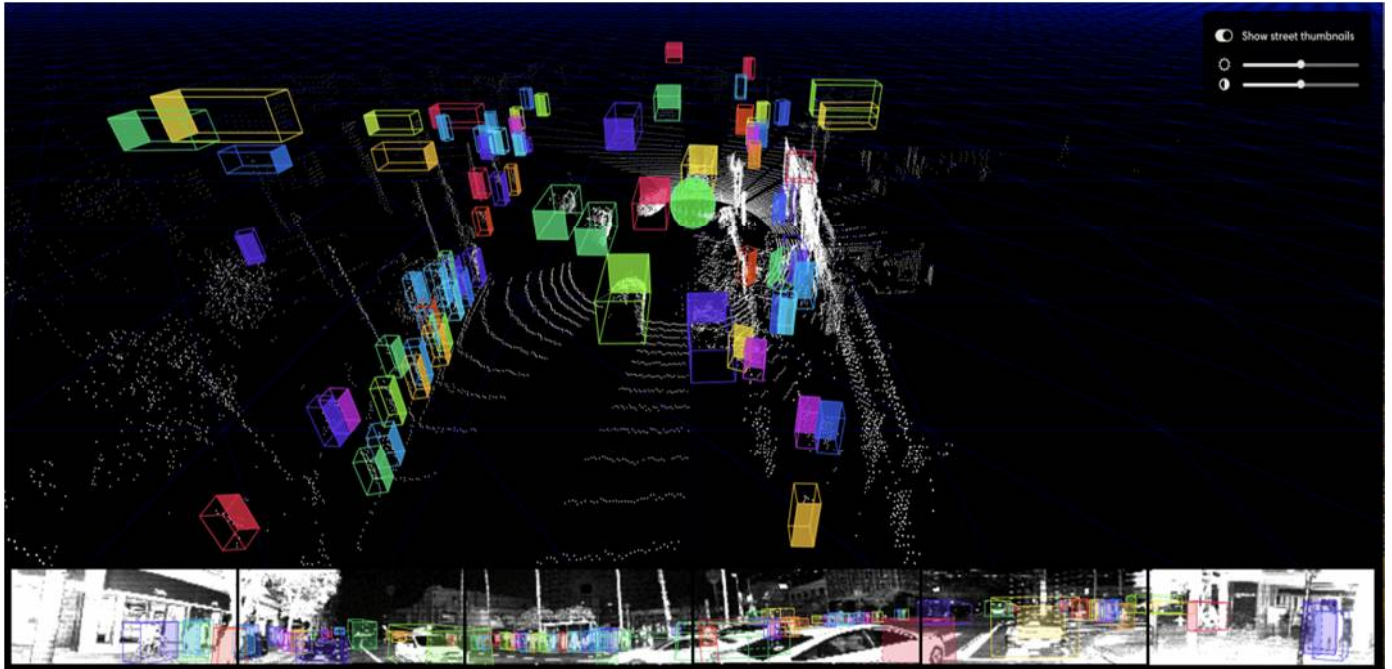
今回の業務提携には、顧客に対して以下の項目を含む、数多くの利点があります。

- ・ **効率化されたデータ転送**：標準化された効率的データフォーマットは、ラベリング用データ転送の前に顧客が行うべき作業量を低減します。
- ・ **センサーフュージョンは必要ありません**：Ouster LiDAR センサーは、3D データの加えて、2D カメラの画像に似た画像を出力し、カメラの校正に費やす時間を低減してくれます。
- ・ **自動 2D マスク生成**：ユーザは、今や、2つの API コール付きの画像（1つ）を Scale.AI に送信することで、2D インスタンスとセマンティックセグメンテーションマスクと 3D 境界ボックスの全てを受け取ることができます。



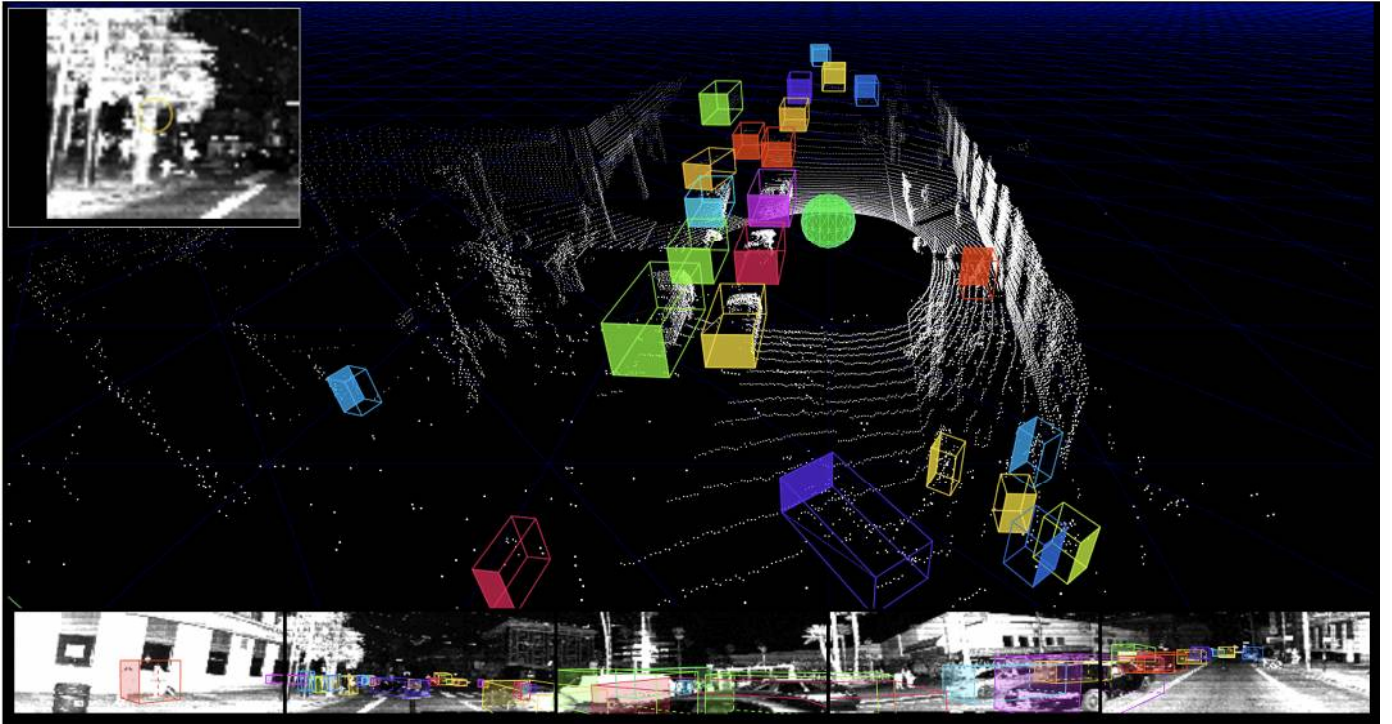
画像ピクセルでエンコードされた深さ情報からのみで計算された点群

Ouster と Scale.AI は、この分野で初となる技術で業界をリードします。今後数か月で、Scale.AI は同様なデータ統合の業務提携をセンサーメーカーと行い、ユーザの LiDAR、または RADAR のラベリング業務を改善し続けていく予定です。



360° カメラでは、対象物の位置とアノテーションを実行できる。

これらのパートナーシップは、Scale.AI に転送するために行うべき作業量を低減し、よりシームレスなデータパイプラインを構築します。



3D から 2D への直方体の正確な投影